

令和5年度第1回三重県障がい当事者支援プロジェクト

日時：令和6年1月17日（水）

場所：三重県合同ビル 1階 G101号室またはオンライン

参加者：プロジェクトメンバー 6名 初参加 3名

事務局 2名

○会議の内容

(1) 自己紹介

・会議の開催が久しぶりであること、初参加の方がいらっしゃることもあり、それぞれ自己紹介いただきました。

(2) 障がい当事者支援プロジェクトの目的やルールの確認

(3) 司会決め

(4) 思いの共有、プロジェクトで話したいテーマについて

・小中学校へ行き、障がい当事者の視点から講演活動をしていきます。

・自分の障がいの理解が得られなかったり、差別を受けた経験はあ

りますか。

・住んでいる市町、身体、療育、精神の手帳によっても対応が違
うことがあります。皆さんは、そのような経験がありませんか。

・障がいによる助成はありますが、まだまだ負担が重いと感
じています。どのようになったら良いか、アイデアはありますか。個人的
に考えているのは、難病者は他の障がいの方とわかる等、難病者
が他の障がい者の枠を奪うことなく支援を受けられるような体制
ができれば良いのではないかと思っています。また、難病であって
も軽症の方は統計にも入らず、制度の改善に繋げにくいような課題
があります。

・ドイツでは、障がい者雇用率は5%であり、重度の障がい者
の雇用率は別にあります。フランスは6%です。

・精神疾患のはじめは、布団から出られなかったりしました。精神
疾患を抱えながら働いていくことについて皆さんの思いをお伺い
したいです。

・継続して働くことが難しくなりました。

・障がいについて、業務の中で理解を得られないことがあります。
日本の働けど働けど、というところから進化がなく、その中で悩

でいます。

・^{じゅうどほうもんかいご}重度訪問介護^をしている^{じぎょうしょ}事業所^{あつ}が集まる^{れんらくきょうぎかい}連絡協議会^のようなもの
が^{かいさい}開催^{され}、^{なか}その中^で重度訪問介護^の資格^{しかく}が^と取れる^{ようせいけんしゅうこうざとう}養成研修講座等
が^{かくじぎょうしょ}各事業所^{きょうりよく}の協力^{おこな}のもと^よで行^{おも}われると^{じゅうど}良い^{ひと}と思います。重度の人
は^{しせつぐ}まだまだ施設暮らし^{げんじょう}という現状^があります。

・^{せいしんしょう}精神障^{はなし}がい^の話^{になり}ますが、^{さいきん}最近^はバランス^{よく}、^{しょう}障^{がい}と
^{なかよ}仲良^いく^{かんが}生きたいと^{おも}考^{えて}います。

・^{けんじょうしゃ}健全者^{かた}の方^{をおこ}を怒^らせて^{じぶん}しまうので、^{しょう}自分の障^{がい}は^い言^わない^{ほう}方が
^い良い^{かんが}のではないかと^{とき}考^える^か時^があります。^{かいぜんほうほう}改善方法^はなく^{ても}、^そそ
れ^をを^{ひが}僻^んで^{はい}け^{ない}と思^って^いま^す。^{じぶん}自分^が話^{して}いる^{こと}も^{わす}忘^れ
て^しま^い、^{はな}話^さない^{ほう}が^よ良い^のではないかと^{かんが}考^える^{こと}も^あり^ま
す^が、^{こう}こ^うして^{はな}話^せて^{うれ}嬉^{しい}とも^{おも}思^いま^す。^うう^まく^{はな}話^せない、^{これ}こ^れが
^き記^憶障^{がい}です。

(5) ^{とうかつ}統括、^{ふくとうかつ}副統括^き決め

(6) ^たその他

・^{こうじのうきのうしょう}高次脳機能障^{かた}がい^の方^{ひとり}が^ふもう一人^{うれ}増^えると^嬉しい^{です}が、^{もう}もう

ひとり ぶい はつげん
一人増えると発言がまとまらなくなるかもしれないので、皆さんに
まとめてもらえると助かります。

はつさんか いけん き
・初参加の方の意見を聞きたいです。

て - ま
・1つのテーマをつきつめるのではなく、さまざまな当事者性を話せる
ころがよいと思いました。きおくしょう
記憶障がいのためうまく話せないと言
われていたが、その方の持つしょう りかい ふか
障がいの理解が深まり、これまでになか
ったちしき
知識をいただけたと感じています。

おな しっかん かか かた はなし きかい よ
・同じ疾患を抱えている方と話をする機会があり良かったです。

し よ
・いろんなことを知ることができて良かったです。しょう どうじしゃ
障がい当事者
しえん
支援プロジェクトを通してちい
小さなことからでもかわっていくとよい
と思いました。